

# 特許紹介

昭和10年12月

## ポルトランドセメント混和物の製法

(特許第 112307 號 出願 9-2-24)  
(特許権者 (發明者) 菅 加治吉)

此の發明は、均質の粘土に稀硫酸を加へ、混捏後成形乾燥し、攝氏約 350° の還元氣中で焙焼したものを微粉末とするポルトランドセメント混和物の製法であつて、之に依り此種の従來のものに比して、耐壓力が大であつて且つ無石膏ポルトランドセメントにも使用し得るものを得んとするものである。

## 坑壁崩壊止め構成方法

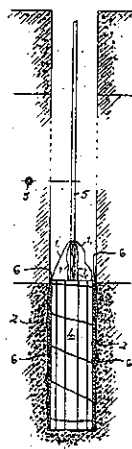
(特許第 112369 號 出願 9-12-15)  
(特許権者 (發明者) 橋本宗太郎)

此の發明は、深度の鑿井作業上最も難澁する坑壁の崩壊を防止する方法であつて、即ち坑井内に泥狀モルタル等の適量を流下堆積せしめ (第 1 圖)、その流動状態中に 2 重管ロッド (5) に懸吊した密閉筒 (4) を沈降せしめて泥狀モルタルを筒 (4) の外周に排除し (第 2 圖)、

第 1 圖



第 2 圖



次で前記 2 重管ロッド (5) に依り密閉筒 (4) 内に熱氣又は熱湯を循環せしめて、側周のモルタルを急速に加熱凝固せしめた後、その密閉筒を抜き取つてモルタル壁を鑿設せしめる方法である。

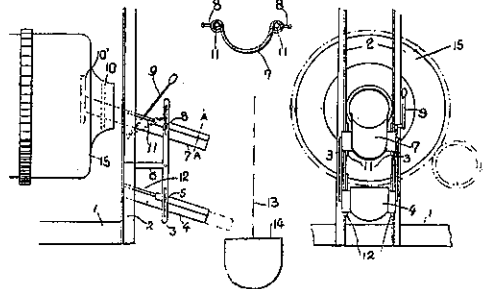
## コンクリート混合機

(特許第 112323 號 出願 9-11-24)  
(特許権者 (發明者) 中根澤藏)

此の發明は、エレベーターに依つて上下するバケツにコンクリートを確實に收容し得るコンクリート混合機

を目的としたもので、圖に就き之を説明すれば、機枠 (2) に排出樋 (7) を可滑的に裝置し、更にその下方に補助排出樋 (4) を同様に可滑的に裝置し、兩樋を連桿 (3) で連繫し、連桿の適當點を機枠に突出固定せる桿 (6) に幅着し、一樋の運動に依つて他樋を反對方向に動かす様にしたものである (第 3、第 4、第 5 圖)。作用を述べれば、索條 (13) により吊下げたバケツ (14) が降下する時、兩樋は實線位置にあり、バケツが着陸した時、ハン

第 3 圖 第 5 圖 第 4 圖



ドル (9) に依り樋 (7) を左方へ滑動すれば (第 3 圖)、其の端部の蓋 (10) は (10') の位置を占め、排出口を開くと同時に補助樋 (4) は右方に點線の如く突出し、其の先端はバケツの直上に位置し、樋 (7) からのコンクリートを正しくバケツ内に流入せしめ、バケツが充滿した時ハンドルにより樋 (7) (4) を最初位置に歸しバケツを再び上方に送るのである。

## 防水布

(特許第 112319 號 出願 8-11-4)  
(特許権者 (發明者) 木村 賢)

此の發明は、荏油チヤン及び桐油を共に多少加熱した後之に鐵粉及び金ミツダを加へ沸騰せしめて作つた第 1 液と古臘及びボイルド油を共に沸騰せしめた液中に青雄松葉及び唐辛を一定時間浸漬せしめて引揚げ、その液が多少冷却した頃之に液體ドライヤーを混入して作つた第 2 液とを適當割合で混合煮沸して作つた防水劑を塗布した防水布である。

## 鑿井焼却爐

(特許第 112412 號 出願 8-11-9)  
(發明者 片山努男 特許権者 渡 幸吉)

## 鑿岩機の性能試験機

(特許第 112434 號 出願 9-7-24)  
(發明者 鈴木富治 特許権者 日本鑿業株式会社)

深礎築造方法

(特許第 112466 號 出願 8-7-25)  
特許権者(發明者) 木田保造

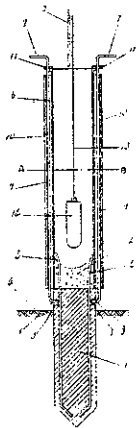
此の發明は、波形薄板を數枚連結圍繞して井筒子を構成し、之を地下に適宜下降せしめながら内側の土砂を掘鑿し、所要の深度に於て之をピンに外周地層に定着し、次層井筒子を上層井筒子の波形を定規として自動下降せしめながら内側の土砂を掘鑿し、兩井筒子が適宜集合する位置に於てピンに依り外周地層に定着し、以下この工程を繰返し、釣橋式に井筒を構成し、次に最下層の井筒子内にコンクリート構築をしながらピンを抜き、周胴の連結を解きピン孔に鈎をかけて上層の波形を定規として上方に牽引し、充填と周胴の解舒とを並行し乍ら順次上方に基礎柱を構築する方法である。

鐵筋コンクリート基礎杭打施工方法

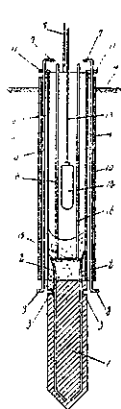
(特許第 112513 號 出願 9-12-3)  
特許権者(發明者) 白石多士良

此の發明は、比較的硬質地盤に對する 施工をも容易にし、而も 組立鐵筋の損傷を防止して迅速確實に鐵筋コ

第 6 圖



第 7 圖



ンクリート杭を施工し得る方法を目的としたものであつて、之れを圖に就き説明すれば、垂下圓筒(6)の下端に鐵筋コンクリート杭(1)(又は尖先端木杭)を圓筒外に添設した回動自在の丸型鐵棒(9)(9)で連結した後、前記鐵筋コンクリート杭上に適量のコンクリートを投入し、之れを鐵槌で墮くことに依つて、鐵筋コンクリート杭を圓筒と共に所定深度迄地中に打込み(第 6 圖)、次で圓筒と杭との連結部を開放し、且つ前記圓筒内に組立鐵筋(16)を挿入した後、圓筒内に於けるコンクリートの投入補充と鐵槌に依る掘鑿とを繼續しながら圓筒を漸次上

昇せしめて鐵筋コンクリート杭を構築する方法である(第 7 圖)。

電氣的地質調査方法

(特許第 112579 號 優先權主張 6-9-2)  
發明者 コンラッド・シュルンバーゲル  
特許権者 ソシエテ・ド・プロスベクシオン・エレクトリク

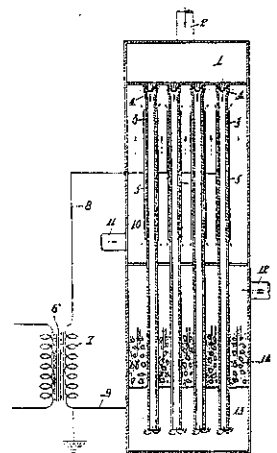
此の發明は、簡單容易な作業と少額の費用を以て地質を電氣的に調査し、油田含水層等を精密に檢出せしめんとするものであつて、先づ調査せんとする土地に掘鑿孔を穿ち、泥水を是れに填充し、種々の地層に沿へる深さに於て自然的に發生せられる電位差を測定することに依つて多孔層を檢出し、其の位置及び厚さを測定すると共に掘鑿孔内に存在する水頭を例へば水面を低下する事等に依つて豫定置丈け變更し、次に此の水頭値に於て再び電位差を測定して多孔層内の壓力を計算する方法である。

オゾン浄水装置

(特許第 112577 號 出願 9-9-25)  
特許権者(發明者) 岡田進亮

此の發明は殺菌管(3)を特に絶縁資料を以て構成し、その内部を通過する水に一電極を具有せしめ、管(3)の外周に裝着した導體(5)を一電極としてオゾン發生器を構成せしめ、且つ殺菌管内を通過する水に依つて管内にオゾンを吸入して之によりその水を漸次淨化せしむる方法である(第 8 圖参照)。尙圖中(1)は壓力を有する導水管(2)に連結された水槽、(10)は空氣室、(11)はオゾン化せしむる空氣を供給する管(12)は淨化水の排出管、(13)は底部水室、(4)は濾過室である。

第 8 圖



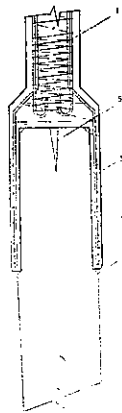
コンクリート杭と木杭との接續装置

(特許第 112560 號 出願 8-9-15)  
特許権者(發明者) 武智正次郎

此の發明はコンクリート杭(1)の一端に木杭(2)の一端を挿入すべき管體(3)を形成し、豫め木杭の端面に楔子(5)を植建て、コンクリート杭の重量又は杭打作用に

よる壓力で楔子を木杭内に壓入して木杭端を擴大せしめ、以てコンクリート杭の管狀端内面に密着せしむべき接續装置である(第9圖)。

第 9 圖



高級ポルトランドセメント製造法

(特許第 112575 號 出願 9-4-13  
發明者 小島隆雄 特許權者 秩父セメント株式会社)

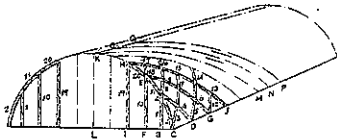
此の發明は、セメント中のアリットの量を大とし、短期及び長期強度を著しく増大せしめ、且つ地下水及び酸類に對する抵抗大なるセメントを得る方法を目的としたものであつて、即ち原料中の礬土及び酸化鐵の量を可及的小とし、其の代りに他の燐媒例へば非石灰又は硫酸石灰を添加燒成することに依り生成する燒灰中の石灰對珪酸礬土酸化鐵の含量の比  $(CaO/SiO_2 + Al_2O_3 + Fe_2O_3)$  を 2.4 以上にし、珪酸對礬土酸化鐵の含量の比  $(SiO_2/Al_2O_3 + Fe_2O_3)$  を 5.0 以上にする方法である。

無足場骨組法

(特許第 112600 號 出願 9-7-4  
特許權者 (發明者) 野澤一郎)

此の發明は、短小な多數の構節をアーチ形に組成する骨組法に於て必要な複雑な支柱兼用の足場を全然不用ならしめてアーチ形の骨格を最も簡易迅速に組成せん

第 10 圖



とするものであつて、第10圖に就き之を説明すれば、端面壁の一部を構成すべき數構節(1)(2)と、アーチ形網代狀側壁の一部を構成すべき數構節(3)(4)とを以て先づ建物の一端左右下隅にA,B,C,Dの如き略三角錐狀の空間を形成する様に組成し、次にアーチ形網代狀側壁の一部を構成すべき數構節(5),(6),(7),(8),(9)と端面壁の一部を構成すべき數構節(10),(11)とを前記の構節と連結組成し、以上の構節(1)~(11)を以てE,F,Gの如き略三角錐狀の空間を形成せしめ更にアーチ形網代狀側壁の一部を構成すべき數構節(12),(13),(14),(15),(16),(17),(18)と端面壁の一部を構節すべき數構節(19),(20)とを前記の構節(1)~(11)と連結組成してH,I,C,Jの如き略三角錐狀の空間を形成せし

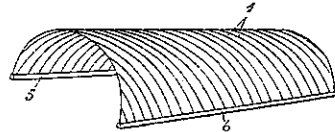
め以下順次斜め上方に向つて組成し行く方法である。

彎曲屋根構成法

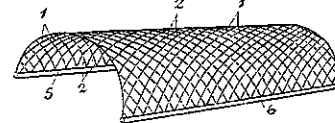
(特許第 112601 號 出願 9-6-2  
特許權者 (發明者) 野澤一郎)

此の發明は、最も簡単な方法で、斜贅材を殆んど不必要ならしむべき堅牢且つ經濟的な彎曲屋根を構成せんとするものであつて、即ち多數のアーチ形梁材(1)を建物の正面と一定の角度をなして左右の基礎(5),(6)上に等間隔置きに設置し(第11圖)、又前記の梁材と相交すべき多數のアーチ形梁材(2)を等間隔置きに前記と同一の基礎上に設置して内壁を構成した後(第12圖)、該基礎の各外側に並置せる左右の基礎上に前記と

第 11 圖



第 12 圖



同一の方法によつて外壁を構成し、而して内外梁材の相對向する各交點間を夫々連結材によつて連結する方法である。

セメント製造法

(特許第 112716 號 出願 9-5-3  
發明者 植山文司 特許權者 秩父セメント株式会社)

此の發明は、乾燥状態に在る調合原料粉末に適宜の粗粉粒物質を混和し、壓縮成形して燒成するセメント製造法であつて、其の目的は原料中に含有する空氣量を減じ且つ壓縮の際空氣をよく放散せしめて成形に要する動力を減少し、燒成に適當する密度と硬度とを有する原料塊粒片を容易に壓縮成形し得しめやうとするに在る。

(附) 登録實用新案

- 管の接手 (第 211826 號 實用新案權者 公告 10 年 第 3936 號 業本雄之助)
- 板付コンクリートブロック (第 211854 號 實用新案權者 公告 10 年 第 6846 號 河合榮七)
- テントターゲット支軸装置 (第 211959 號 實用新案權者 公告 10 年 第 6507 號 株式会社東京石川島造船所)
- 不凍消火栓 (第 212016 號 實用新案權者 公告 10 年 第 4003 號 山本利雄)

開 閉 種 (第 212123 號 公告 10 年 第 5073 號)  
(實用新案權者 島岡信次郎)

鐵筋コンクリート杭 (第 212157 號 公告 10 年 第 5020 號)  
(實用新案權者 阪田 年 彦)

軌條接目補強装置 (第 212169 號 公告 10 年 第 3153 號)  
(實用新案權者 外山 年 貞)

減 壓 濾 過 器 (第 212221 號 公告 10 年 第 7822 號)  
(實用新案權者 小 島 年 正)

踏 切 遮 斷 装 置 (第 212237 號 公告 10 年 第 7060 號)  
(實用新案權者 龜 井 年 貫)

豎 坑 掘 鑿 棒 (第 212270 號 公告 10 年 第 4759 號)  
(實用新案權者 木 田 年 保)

コンクリート杭築造装置用内管 (第 212363 號 公告 10 年 第 5550 號)  
(實用新案權者 箱 根 年 正)

豎坑底部の耐圧力試験装置 (第 212373 號 公告 10 年 第 5074 號)  
(實用新案權者 木 田 年 保)

金 網 蛇 籠 (第 212381 號 公告 10 年 第 5077 號)  
(實用新案權者 高 岡 年 市)

路 面 標 識 紙 (第 212381 號 公告 10 年 第 5190 號)  
(實用新案權者 井上衛太郎 外 1 名)

回轉式試錐並に綱又は鉛桿を使用する衝擊式試錐に  
 兼用する試錐機 (第 212599 號 公告 10 年 第 3211 號)  
(實用新案權者 日下部義太郎)

分水管接続装置 (第 212615 號 公告 10 年 第 5582 號)  
(實用新案權者 種 岡 年 夫)

鐵 柱 (第 212697 號 公告 10 年 第 6014 號)  
(實用新案權者 ヴィクター、フランク、ハンメル)

土木建築用鐵筋網筒 (第 213127 號 公告 10 年 第 5271 號)  
(實用新案權者 高 岡 年 石)